

8.2 生物の生育・生息基盤

8.2.1 調査事項

調査事項は、表 8.2-1 に示すとおりである。

表8.2-1 調査事項(東京2020大会の開催後)

区 分	調査事項
予測した事項	<ul style="list-style-type: none"> ・生物・生態系の賦存地の改変の程度 ・新たな生物の生育・生息基盤の創出の有無並びにその程度
予測条件の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・既存緑地の改変の程度 ・植栽基盤（土壌）の状況 ・緑化計画
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・緑化計画は、江東区みどりの条例における緑化基準（地上部緑化面積約 50,000m²、接道部緑化延長約 1,170m）を満たす地上部緑化約 82,000m²、接道部緑化約 1,280m とする計画としている。 ・計画地の東側、北側に可能な限り緑地帯を確保する計画としている。 ・辰巳の森海浜公園との連続性を確保し、高木、中木等を植栽する計画としている。 ・植栽樹種は、辰巳の森海浜公園に生育している樹種を参考として、既存公園部分との調和や連続性を意識し、風景に変化を与える計画地に適した樹種を選定する計画としている。 ・十分な植栽基盤（土壌）の必要な厚みを確保する。

8.2.2 調査地域

調査地域は、計画地とした。

8.2.3 調査手法

調査手法は、表 8.2-2 に示すとおりである。

表8.2-2 調査手法(東京2020大会の開催後)

調査事項	<ul style="list-style-type: none"> ・生物・生態系の賦存地の改変の程度 ・新たな生物の生育・生息基盤の創出の有無並びにその程度 	
調査時点	東京2020大会の開催後(2021年度)とした。	
調査期間	予測した事項	施設竣工後の2022年2月とした。
	予測条件の状況	施設竣工後の2022年2月とした。
	ミティゲーションの実施状況	施設竣工後の2022年2月とした。
調査地点	予測した事項	計画地とした。
	予測条件の状況	計画地とした。
	ミティゲーションの実施状況	計画地とした。
調査手法	予測した事項	任意踏査による植生の状況及び緑化計画図の整理による方法とした。
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影等)及び緑化計画図の整理による方法とした。
	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)及び緑化計画図の整理による方法とした。

8.2.4 調査結果

(1) 調査結果の内容

1) 予測した事項及び予測条件の状況

ア. 生物・生態系の賦存地の改変の程度

計画地は、辰巳の森海浜公園の未開園地であり自然地形等はなく、造成後に植栽された落葉針葉樹、常緑広葉樹、落葉広葉樹が生育する土壌表面には落葉等による腐植層が成立し、土壌動物の生息環境として利用されるほか、特に都市部における動物の生息環境を創出する植生の生育基盤が成立していることが想定された。

事業の実施に伴い、植栽樹林は伐採により改変されたが、辰巳の森海浜公園全体として江東区みどりの条例における緑化基準（地上部緑化面積約 50,000m²、接道部緑化延長約 1,170m）を満たす地上部緑化約 81,400m²、接道部緑化約 1,173m の緑地の整備を行う予定である。

また、計画地周辺の主な生物・生態系の賦存地としては、計画地南側の辰巳の森海浜公園内に植栽された落葉針葉樹、落葉広葉樹、常緑広葉樹がまとまって生育しているが、これらの樹林は事業の実施による改変は生じなかった。

さらに、辰巳の森海浜公園との連続性を確保し、高木、中木等を植栽する。植栽樹種は、辰巳の森海浜公園に生育している樹種を参考として、既存公園部分との調和や連続性を意識し、風景に変化を与える計画地に適した樹種を選定したことから、新たな植物の生育基盤が創出され、周辺も含めた生物・生態系の賦存地は維持されるものとする。

イ. 新たな生物の生育・生息基盤の創出の有無並びにその程度

事業の実施に伴い、計画地内の落葉針葉樹、常緑広葉樹、落葉広葉樹の植栽樹林群が伐採されたが、辰巳の森海浜公園全体として江東区みどりの条例における緑化基準（地上部緑化面積約 50,000m²、接道部緑化延長約 1,170m）を満たす地上部緑化約 81,400m²、接道部緑化約 1,173m の緑地を整備し、計画地の東側、北側及び西側には可能な限り緑地帯を整備する予定である。

また、辰巳の森海浜公園との連続性を確保して高木、中木等を植栽する。また、植栽樹種は、辰巳の森海浜公園に生育している樹種を参考として、既存公園部分との調和や連続性を意識し、風景に変化を与える計画地に適した樹種を選定したことから、新たな生物の生育・生息基盤が創出されるものとする。

2) ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 8.2-3 に示すとおりである。なお、生物の生育・生活基盤に関する問合せはなかった。

表8.2-3 ミティゲーションの実施状況(東京2020大会の開催後)

ミティゲーション	・緑化計画は、江東区みどりの条例における緑化基準（地上部緑化面積約 50,000m ² 、接道部緑化延長約 1,170m）を満たす地上部緑化約 82,000m ² 、接道部緑化約 1,280m とする計画としている。
実施状況	緑化計画は、江東区みどりの条例における緑化基準（地上部緑化面積約 50,000m ² 、接道部緑化延長約 1,170m）を満たす地上部緑化約 81,400m ² 、接道部緑化約 1,173m の緑地を整備する。計画地内には、地上部緑化約 3,600m ² 、接道部緑化約 260m の緑地を整備する。
ミティゲーション	・計画地の東側、北側に可能な限り緑地帯を確保する計画としている。
実施状況	計画地の東側に約 1,600m ² 、北側に約 1,200m ² 及び西側に約 800m ² の緑地帯を確保し、高木及び地被類による植栽を行う予定である。
ミティゲーション	・辰巳の森海浜公園との連続性を確保し、高木、中木等を植栽する計画としている。
実施状況	辰巳の森海浜公園との連続性を確保し、高木及び地被類による植栽を行う予定である。
ミティゲーション	・植栽樹種は、辰巳の森海浜公園に生育している樹種を参考として、既存公園部分との調和や連続性を意識し、風景に変化を与える計画地に適した樹種を選定する計画としている。
実施状況	植栽樹種は、辰巳の森海浜公園に生育している樹種を参考として、既存公園部分との調和や連続性を意識し、風景に変化を与える計画地に適した樹種を選定する予定である。
ミティゲーション	・十分な植栽基盤（土壌）の必要な厚みを確保する。
実施状況	植栽を施す地盤の土壌は、樹種と生育状況に応じた必要な植栽基盤を確保する。

(2) 予測結果とフォローアップ調査結果との比較検討

1) 予測した事項

ア. 生物・生態系の賦存地の改変の程度

事業の実施に伴い、計画地内の植栽樹林が伐採されたものの、辰巳の森海浜公園全体として江東区みどりの条例における緑化基準（地上部緑化面積約 50,000m²、接道部緑化延長約 1,170m）を満たす地上部緑化約 81,400m²、接道部緑化約 1,173m の緑地の整備を行う。また、計画地には、既存の辰巳の森海浜公園との調和や連続性を意識し、風景に変化を与える計画地に適した樹種を選定したことから、新たな植物の生育基盤が創出され、周辺と一体となった生物・生態系の賦存地は維持されるものと考えられる。

以上のことから、予測結果とフォローアップ調査結果は概ね一致するものと考えられる。

イ. 新たな生物の生育・生息基盤の創出の有無並びにその程度

事業の実施に伴い、計画地内の常緑広葉樹や落葉広葉樹等の植栽樹林群が伐採されたものの、辰巳の森海浜公園全体として江東区みどりの条例における緑化基準（地上部緑化面積約 50,000m²、接道部緑化延長約 1,170m）を満たす地上部緑化約 81,400m²、接道部緑化約 1,173m の緑地の整備を行う。また、計画地には、既存の辰巳の森海浜公園との調和や連続性を意識した計画地に適した樹種を選定することにより、周辺と一体となった新たな生物の生育・生息基盤が創出されるものと考えられる。

以上のことから、予測結果とフォローアップ調査結果は、概ね一致するものと考えられる。